













趣を國表へ御達しに相成り

美作好い被服に大蔵越後守を誤魔化し、御大老を直井龜策頭忠清公へ對し「若殿下野守御逝去、御後嗣の御御公儀にて宜しく野ひ奉る」と申出し、また徳川家の御家法として世間なき時は其家斷絶と據つて居る、然れば下野守を亡ひ御世取りのなき苗田家は、従ふ徳川御家門第一の御家は云へ、天下の大法から行けば、御家斷絶とならなければならぬ、是に及ばぬ御公儀に於て、何か思召のあることへ、初に大老へ御相談いたすと「イヤそれは、當時江戸表に居る、小栗美作の妻なるものは、下野守とは前通ひの御兄弟なれば、其美作の一手大老にて世間と致すが、然るべき態度と心得る、公儀の事は此雅樂館かに引受けたり、左様いたして宜しからう」斯う云ふ御内意で御坐いますから、大蔵越後守から、右の利正齋はじめてして、椅籠皇の如坐列ふ、一段高き所へは、御別家白樺の御手様にて永見大蔵殿御妻ある、頓て座定まるや、小栗美作然として、善きと各位、今日總登の儀申し出でたるは餘の儀にあら此ほど若殿下野守様御不御ににて御手常も叶はせ、殘念ながら御去あらせられ、誠に御同様御傷はきことで御坐る、就ては江戸表大老より、御家督の儀に付き、斯る御面を頂戴いたしたり、各位方宜し御評義を願ひたい」と云つて、機より取出したる書面を讀上げ、一に示す、之を聽いて誰一人發言する者がない、只下つと向いて吐息するのみ、此時田中太右衛門の傍左膳の席を進み「乃公誠に明年期を興膳を進み、一言申上げ奉る、此度江戸表の大蔵殿御家督の儀に付き、

電話 八七三番 大正館

[illegible]

○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻

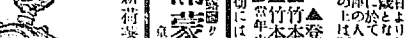
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻

○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻


○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻

○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻

○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻  
○東大 大演劇 異境の行脚 全三巻

新得著アンクル式片側懐中時計  
  
 機械部電表針  
 正確無誤  
 然其價格に  
 して實用に  
 應ずる事天  
 無比

戸瀨外科皮膚科  
 旭町二丁目三丁目  
 醫學士 瀨戸 潔  
 (電話四二九八番)  
 診察夜九時まで

大阪府堺市  
 順道發賣元 肥塚源次郎  
 酒 清 良 醇  


京坂本町三丁目  
 特約販賣店 佐藤牧太郎  
 同 本町三丁目  
 特約販賣店 明治屋支店

大正五年 國 民 年 鑑

▼國民年鑑の編纂法は世界に有名なるアルマナツク又はイーヤブックの編纂法に則り更に是を日本的に改造したるものなり

▼國民年鑑には政治、經濟、文教、軍事は素より娛樂、演藝、相撲等の雜事に至る迄大凡社會百般の事實現象は悉く網羅しあり

▼國民年鑑は在來普通の年鑑の如く無味乾燥なる統計集に非ず其特色は始より終りに至るまで讀んで興味の津々たるにあり

▼國民年鑑には現代日本及世界に活動せる知名の士約二千人の小傳を掲げ又銀行會社一覽を附して年鑑の特色を發揮したり

▼國民年鑑は大正五年度に於て特に御大禮に關する御儀式典禮奉祝其の他諸般の事項を卷頭に掲げ國民千載の記念たらしむ

[illegible]











在つても支那の經濟狀態は自  
の首を絞めるやうになつて來

又及び安金露石の承継を得たる上表面  
並宗藩氏所有其實露石所有なる株券  
二百券を同年三月一日自己の名義に  
書替手額を了へ其後保  
中京、城堀日一丁目貸金業西島亭  
二邸より豫て株式購入資金の供給を  
受け居りたることと、大正元年十月  
二十一日之を取纏め金三萬  
の借用證書を差入る

三月下旬以降五月下旬迄に漢城銀行  
に對し小切手資金に充當すべく完全  
なる當座預金なく又同行に對する  
借款契約なきに拘らず同年三月末  
枚折振出名義同銀行宛の

▲小切手額面 五百圓、四圓  
を作製し之を金取附なる者の手紙を  
京、城堀同金店に交付し該小切  
手は現金同様にて必要に應じ宛名の

に方り、この大分は櫃に該保管中の株券全  
其擔保に差入れて横領したり尙

明治四十五年一月申浦居住の千原  
國次氏に對し、株式會社「川木」を  
取組所は從來に類する會社にして正  
目下、四割以上の配當を  
に於ては、役とな  
るべく、開下  
の合意は、故基君は其

後、期限過るとも辨せざるより、金  
富史は金車庫をして、服次、裕使しめ  
たる結果、同年十一月一日、同人は自  
に於て、百二千圓に利子を加へ、銀、金

景

残せし我  
 の卒業生なれば  
 校の卒業生なれば  
 同様に  
 引所の

重役に周旋  
すべきに依り先  
▲株券を買  
入れよ」と勸  
し同千圓より三  
株買入方の依  
受け其買入代  
達の爲め同月二十  
日子より恩賜  
出賣大附

兵するや  
候云々  
公債額面金  
一萬圓分の

もの四枚及  
ひ金百圓券  
三枚の交附を受

同時に右取所株三百株を買入れ  
た上、尙剩金あれば同人に於て流用  
するも差支へなき旨の契約をなし我  
昨は其翌三十二日大村作太なる者の  
仲介に依り前記恩賜公債一萬圓券四  
枚及び金百圓券三枚と株三百株とを  
五百石あるものと如く換

二千五十圓の約束手形を振出し切替  
へをなすに當り聊も所持糧なきによ  
拘らば京城附近に於て秋收の穀

むき之を擔保に



常市氏より金二萬圓を供

●**伊優から書家に**  
浪華の老翁として其名を知られた五  
中村彌朝郎は、故直入翁の門に入り、  
詩詞の學びたことある。直入没後  
後は獨り餘韻をふかせることは繪筆に親  
み居たるが近頃に至り何う考へたとす

米人は目 産の殘餘金一萬六千五

ノ一門に於ては、  
エドモンの白井松太郎氏は此會に事情を造る



いかに、何しろ二階や座敷に行つて見  
てゐる譯にゆかないのでソレが一番

女房の明・巢・視  
 一丁目 榎木原真吉内縁の妻永沼  
 福岡屋長郎邸に生れ常陸筑城永  
 沼一丁目 榎木原真吉内縁の妻永沼

る旅館といへば萬事女中妾せの商

點二十八圓を竊取し同日御成町木  
 村ゆみと偽名して南大門通五丁目  
 約賀屋に本町二圓にて入賃して消費  
 したる爲め本町司の警備に取押され  
 取調への上檢事局へ送られたり

● **お客の評判總**

凌ひの事

女中の申しける

女中の證詞一つて  
 人知れず本主人の御  
 禮ですから仲々油斷は出来ませぬ  
 女中の始終堪るやうな家はお客様の  
 居付が悪いと云つて女中が淫ら  
 なことでもするやうな威風はござし  
 てま客の長續きがしませぬと云つ  
 ばり苦勞らしい溜息

● 皆良平次郎の判決  
 長崎市

平戸町生れ當時京城旭町二丁目居松  
本安治(三)は本町二丁目の某店より

九  
十の二箇月、に於ては、たゞたゞ  
従つて此處阿麗の旅館の女中もほ  
ゝのもで腰かさうな顔をしてる  
が、其一人を捕へて、年末だからお  
客様についての感想とやらを吐いて  
聞かせないかと云へば

『お客様は御座いますから陰で  
お客さんの悪口言つては誠に濟まな  
いことです。』と冒頭をして語ら  
せられた。

御子玉入金指環五箇と一箇二圓七十  
五錢乃至四圓迄にて買入れ之をダイ  
ヤ入りの如く裝ひ十二月二十八日よ  
り十二月五日迄の間に市内の賣場に  
五圓計りに入貨しダイヤ入寶石入り  
など、と欺き各一箇を五圓以上十二圓  
位迄に入貨し三十圓を賤取したる  
爲め本町屋より檢事局へ送られ二十  
四日懲役六箇月の判決となりたり

女抄傳に牛年 前本市井井  
たうごいじやうはん  
ちやうのきよじやう  
はりきうし  
きよじやう

一番困るのは大酒飲みで其んなお客に酔つて夜なぞは何時になつても一向に寝まない長尻でおまりに管を巻く而し其んなお客は何方かと思ふ程の女中の方で女中の取手銀鑰匙の手より檢事局に送致さ

月二十四日京城地方法院に於て懲役

行其義之謂道

太正五年新年名刺交換會の會場は日  
時を左の通り相定め候間御承知相成度  
候也

[illegible]

◎未だ見ぬ親五來、露川、  
◎心づくし水上瀧太郎九  
◎浮世草紙卷三卷四井原四郎客八

[illegible]

會 10

●宋元軍洙錄 卷三 八  
●帝國歲計沿革史 鈴木 卷五 五

**京城製餅所**

所用小豆あん餡製造賣出  
 内中三軒以上は遠達  
 草町五十一番地  
 電話二六〇六

---

**古木盆裁梅**  
**福壽割草**  
**雪輪咲寒椿**

品価適當年歳未

度御來觀の上御請求被下度願士候  
京城大和町一丁目  
警務總監部四ツ角

明治町 柔術道場

國術業 大錦龜

電話二三三三

米國ヒクラー會社製

獸類捕獲器

壹圓 壹圓五十

狐、狸

尺クニ

△古着土道具類 133

ハニクヅ各商店

開始 葬儀舍

草町七三六

取次二七三六

京城市吉町一丁目

南海電下階

131

明治町 柔術道場

國術業 大錦龜

電話二三三三

米國ヒクラー會社製

獸類捕獲器

壹圓 壹圓五十

狐、狸

尺クニ

取器械

石橋質店 仁川濱町 京日代理部

